東神楽町
マスコットキャラクター
かぐらっき～

東神楽町
DX推進基本計画

2025（令和６）年３月27日公表

計画の概要

① DX推進基本計画策定にあたって

本計画は、国の「自治体DX推進計画」や第９次東神楽町総合計画等と整合を図りながら、本町の特色を活かしつつ、DXを推進するためのものです

② 基本理念

東神楽町において、地域課題を解決するため、DXを積極的に推進し、先端技術を活用することで、新たな価値創造を創造し、地域住民が安心しながら生活できる、利便性の高い住みやすいまちづくりを目指します

③ 計画の位置づけ

第９次東神楽町総合計画の下位計画として、総合計画で掲げたまちの将来像である「花と大地と笑顔の東神楽～次世代に受け継ぐ幸せな暮らし～」の実現をデジタル化の側面から支援するための計画とし、各分野の個別計画を横断的につなぎ合わせる役割を持たせるものとします

④ 計画期間

本計画の実施期間は、第９次東神楽町総合計画の実施期間との整合性を図るため、令和７年度から令和18年度までとします
ただし、加速度的に進む社会情勢に対応し、計画内容は、順次改訂をするものとします

DX推進の背景・必要性

① 背景

・急速に進行する少子高齢化、人口減少
・地域コミュニティの衰退、各分野における担い手の高齢化、不足
・定住・移住につながる、若者にも魅力あるまちづくり
・産業界における、将来を見据えたサービスの強化、既存事業再生、競争力強化
・フレイル予防の促進による、健康寿命の延伸
・社会インフラの老朽化
・自然災害の大規模化・激甚化
・新型コロナウイルス感染症の拡大、アフターコロナの「新しい生活」の構築
・SDGs（持続可能な開発目標）達成のためのまちづくり
・GIGAスクール構想の推進 など

② 必要性

地域の課題解決は、これまでの手法や人手による対応が困難となっています
デジタル技術、情報通信技術（ICT、IoT、AI等）の活用により、分野横断的に地域が抱える課題を効率よく、解決していく必要があります
デジタル技術に接点の少なかった高齢者だけではなく、デジタル社会に順応するデジタルネイティブ世代にも受け入れられるまちづくりを模索することが必要となっています

DX推進における重要な視点

① 全体最適を目指す

取り組みは、個別分野にとどまらず、生活全般につながるという視点を持つことが必要です

今までのやり方を単にデジタル技術で代替するのではなく、業務の見直し・スリム化を意識しながら取り組みを行います

② 長期的なビジョンで実施する

最先端技術の導入を一時的・単発的に行うのではなく、よりよい社会を実現するため、技術の導入にあたっては検証・導入・実証・分析を繰り返し行い、適宜事業の方向性を調整することが必要です

③ 住民目線を忘れない

技術の開発者側、技術・システムを供給・提供する側の目線だけではなく、「住民（使用者）目線」を踏まえ、よりよい社会を追求することが必要です

④ 職員一人ひとりが変革の当事者である認識を持つ

各職員がDX推進の必要性や重要性を認識し、組織貢献に取り組むことができるよう意識改革につながる取り組みを進めることが必要です

職員研修のみならず、庁内におけるデジタルデバイド（情報格差）対策にも配慮した取り組みを行います

基本理念（目指すべきイメージ）

- 総合計画で掲げた“まちの将来像”である「花と大地と笑顔の東神楽～次世代に受け継ぐ幸せな暮らし～」の実現をデジタル化の側面から支援するための計画とすることを目指し以下の４つの観点で計画を構成します

① 生活のDX（くらしのデジタル化）

住民生活の「質の向上」を目指し、まちづくりや健康分野でのICT活用、地域防災・防犯力の向上などを検討します

② 産業のDX（しごとのデジタル化）

町内事業者等におけるビジネスモデルの変革や業務効率化、IT人材の確保・育成、スマート農業やデジタル技術を活用した地域資源の活用などを検討します

③ 教育のDX（まなびのデジタル化）

GIGAスクール構想で整備した環境の利活用を念頭に、教育分野の更なるICT化を検討します

④ 行政のDX（やくばのデジタル化）

これまで他地域に先行して進めてきた業務の効率化、押印廃止、ペーパレス化への取り組みを深め、オンライン手続きの拡充、ビッグデータの収集・分析や政策への応用などを検討します

分野別DX施策

事業（プロジェクト）名

電子契約システムの促進

観点

□生活のDX（くらしのDX）　■産業のDX（しごとのDX）
□教育のDX（まなびのDX）　■行政のDX（やくばのDX）

想定事業期間

2024年～
※当該事業は既に着手済

事業概要

□新規に取り組む事業　■既存の取り組みを拡充・充実を図る事業
□自治体間での連携事業　□民間事業者との連携事業

想定事業費

整備費：
運用費：10千円／月

所管課

総務課・法務情報係

関係課

庁内全課

事業概要

- 東神楽町と民間事業者間における契約手続きについて、従来の書類（紙媒体）による契約書の作成から電子化された契約書に移行し、押印の廃止・契約手続きの迅速化・紙媒体の保管量の圧縮を図ろうとするもの
- 民間事業者にとっては、印紙税が免除されるなどのメリットがあることから、民間事業者にとっても東神楽町で用意・提供する電子契約システムによる電子契約を行う事で、事務効率化や経費節減の効果が期待される
- 現行の電子契約システムの運用だけに留めず、電子請求書のシステムを導入することで、さらなる事務効率化を目指し、既存の取り組みを拡充・充実を図る

分野別DX施策

事業（プロジェクト）名

自製アプリの開発

観点

■生活のDX（くらしのDX）　■産業のDX（しごとのDX）
■教育のDX（まなびのDX）　■行政のDX（やくばのDX）

想定事業期間

2025年～

事業概要

■新規に取り組む事業　□既存の取り組みを拡充・充実を図る事業
□自治体間での連携事業　■民間事業者との連携事業

想定事業費

整備費：
運用費：2,600千円／年

所管課

総務課・法務情報係

関係課

庁内全課

事業概要

- アプリ作成ツールであるkintone（キントーン）を活用し、東神楽町庁内における業務効率化を実現するアプリを自製しようとするもの
- 一般に販売・提供されているアプリ・システムと異なり、庁内で適宜カスタマイズや実状に即したアプリ開発ができるなどのメリットがあり、住民や民間事業者との間での簡単な手続きや窓口対応の予約受付などをインターネットを介して実現することにより、事務効率化や経費節減の効果が期待される
- 東神楽町と連携協定を締結している民間事業者との間で、自製アプリ開発のノウハウや考え方について協力を得て取り組みの深化を図る

分野別DX施策

事業（プロジェクト）名

通話の録音システムの導入

観点

■生活のDX（くらしのDX）　□産業のDX（しごとのDX）
□教育のDX（まなびのDX）　■行政のDX（やくばのDX）

想定事業期間

2025年～

事業概要

□新規に取り組む事業　■既存の取り組みを拡充・充実を図る事業
□自治体間での連携事業　□民間事業者との連携事業

想定事業費

整備費：2,870千円
運用費：　100千円／年

所管課

総務課・法務情報係

関係課

庁内全課

事業概要

- 東神楽町で既に導入しているスマホ内線システムの機能強化として、全通話の録音システムを導入しようとするもの
- 昨今、全国的にも深刻化しつつある、カスタマーハラスメント対策として導入を行い、職員の安全の確保のみならず、住民対応の品質向上につなげる効果が期待される

分野別DX施策

事業（プロジェクト）名

公共施設フリーWi-Fiの環境整備

観点

■生活のDX（くらしのDX）　□産業のDX（しごとのDX）
■教育のDX（まなびのDX）　□行政のDX（やくばのDX）

想定事業期間

2013年～
※当該事業は既に着手済

事業概要

□新規に取り組む事業　■既存の取り組みを拡充・充実を図る事業
□自治体間での連携事業　■民間事業者との連携事業

想定事業費

整備費：1,500千円
運用費：　100千円／年

所管課

総務課・法務情報係

関係課

庁内全課

事業概要

- 東神楽町で既に導入しているフリーWi-Fiの機器類について、経年劣化による老朽化やスマートフォンのセキュリティ強化に伴いフリーWi-Fiへのアクセスができなかったり、つながりにくいという状況を改善しようとするもの
- セキュリティ対策（犯罪への応用などの抑止）にも配慮をした整備が必要
- 東神楽町と連携協定を締結している民間事業者との間で、環境整備の在り方について協力を得つつ取り組みの深化を図る

分野別DX施策

事業（プロジェクト）名

セキュリティポリシーの策定と監査の充実

観点

■生活のDX（くらしのDX）　□産業のDX（しごとのDX）
□教育のDX（まなびのDX）　■行政のDX（やくばのDX）

想定事業期間

2025年～

事業概要

□新規に取り組む事業　■既存の取り組みを拡充・充実を図る事業
■自治体間での連携事業　□民間事業者との連携事業

想定事業費

整備費：2,000千円
運用費：　300千円／年

所管課

総務課・法務情報係

関係課

庁内全課

事業概要

- 東神楽町セキュリティポリシーについて、現状の環境や働き方に即した内容に改訂を行うとともに、定めたルールを順守していることを監査により確認し、必要に応じてポリシー改訂をPDCAサイクルを回しながら実施しようとするもの
- 進展著しいICT環境において、住民の生命財産を守るという町役場としての本来の責務を果たすため、今まで以上に情報管理に配慮した行政運営が求められていることから、既存のセキュリティポリシーの全面的な見直しや監査体制の確立が必要となっており、この取り組みに関しては、上川中部８町が共同で取り組むべき事業として位置付けている

分野別DX施策

事業（プロジェクト）名

クラウド型サイネージシステムの充実

観点

■生活のDX（くらしのDX）　■産業のDX（しごとのDX）
■教育のDX（まなびのDX）　■行政のDX（やくばのDX）

想定事業期間

2024年～
※当該事業は既に着手済

事業概要

□新規に取り組む事業　■既存の取り組みを拡充・充実を図る事業
□自治体間での連携事業　□民間事業者との連携事業

想定事業費

整備費：5,000千円
運用費：1,000千円／年

所管課

総務課・法務情報係

関係課

庁内全課

事業概要

- 東神楽町複合施設建設時に導入した、クラウド型サイネージシステムの内容面について、拡充を図ろうとするもの
- より広範な内容（企業広告や住民主催イベント、教育現場からのお知らせ等）を掲載できるような仕組みづくりを構築するとともに、町内各公共施設では旧システムを引き続き運用していることから、リニューアルを図り効率的な運用を実現させ、よりデジタル化を促進させる
- システム運営は、民間事業者の参画を求め、より効率的かつ効果的な運用を目指す

分野別DX施策

事業（プロジェクト）名

図書館情報システムの充実

観点

■生活のDX（くらしのDX）　□産業のDX（しごとのDX）
■教育のDX（まなびのDX）　■行政のDX（やくばのDX）

想定事業期間

2025年～
※当該事業は既に着手済

事業概要

□新規に取り組む事業　■既存の取り組みを拡充・充実を図る事業
□自治体間での連携事業　□民間事業者との連携事業

想定事業費

整備費：15,000千円
運用費：　3,000千円／年

所管課

地域の元気づくり課

関係課

総務課、教育推進課

事業概要

- 東神楽町図書館、ふれあい交流館（図書館分館）及び各学校図書室に導入した、図書館情報の内容面について、拡充を図ろうとするもの
- 図書館及び学校図書室に対する時代の要請に応えるべく、本町の「デジタル活用推進計画」に基づき、サービスのＤＸ推進を図る
- 新たな図書館システムは、公募型プロポーザル方式により広く構築事業者を募り、町民の読書推進、図書館の利用促進、業務の効率化、利用者サービスの向上を目指す

分野別DX施策

事業（プロジェクト）名

ひがしかぐら子育て応援ナビ（母子手帳アプリ）の導入

観点

■生活のDX（くらしのDX）　□産業のDX（しごとのDX）
□教育のDX（まなびのDX）　□行政のDX（やくばのDX）

想定事業期間

2023年～実施

事業概要

□新規に取り組む事業　■既存の取り組みを拡充・充実を図る事業
□自治体間での連携事業　□民間事業者との連携事業

想定事業費

整備費：
運用費：264千円／年

所管課

健康ふくし課

関係課

健康ふくし課・こども未来課

事業概要

- ライフスタイルの多様化による子育て世代のニーズに応じて、いつでも情報を受け取り、確認できる簡便な仕組みで、従来の子育て支援活動をより分かりやすく利用しやすいものとして提供するため実施する
- 町からのお知らせを月齢・年齢にあわせてタイムリーに受診できる「メール配信・プッシュ機能」、成長グラフや乳幼児健診の記録など母子手帳の内容をマイページに記録できる「電子母子手帳機能」、予防接種の接種もれや間隔ミスを防ぐことができる「予防接種AIスケジューラー」など、ICTを活用した子育て世代への継続的なサポートを行うことができる
- 将来実施される定期予防接種や乳幼児健診のDX化にも対応できるアプリとなっている
- アプリのデザインには町のマスコットキャラクターの「かぐらっき～」を使用している

分野別DX施策

事業（プロジェクト）名

健康食育タウン事業

観点

■生活のDX（くらしのDX）　□産業のDX（しごとのDX）
□教育のDX（まなびのDX）　□行政のDX（やくばのDX）

想定事業期間

2015年～
※当該事業は既に着手済

事業概要

□新規に取り組む事業　■既存の取り組みを拡充・充実を図る事業
□自治体間での連携事業　■民間事業者との連携事業

想定事業費

整備費：
運用費：4,066千円／年

所管課

健康ふくし課・健康食育係

関係課

庁内全課

事業概要

- 加齢とともに心身の活力が低下するフレイル対策及び働き盛り世代を対象とし地域企業等との連携、ICTを活用し健康づくりの推進を図ろうとするもの
- 町民の歩数や血圧、体組成等の健康に関する情報をデジタルで一元管理し、町民自身が主体的に管理できる仕組みを導入することで医療費の適正化及び健康寿命の延伸を図る
- アプリを活用した健康づくりを実施することにより、デジタルイミグラント世代へのDX推進に効果が期待される

推進体制

DXに関する施策の総合的な推進及び調整を担う「東神楽町DX推進本部」を組織し、総務課法務情報係がDX推進に係る企画及び調整、DX推進基本計画の策定等を行うとともに、関係各課とも連携しながら、各部局が所管する取り組みや、部局を超えた横断的な取り組みを推進します

- 「東神楽町DX推進本部」の体制

本部長：町長
副本部長：副町長、教育長
本部員：各課の課長・局長・参事
事務局長：総務課長
事務局：総務課法務情報係
DX推進員：各課で指名する情報システム担当者